

新中期計画（平成30～32年度）

平成30年4月27日

Colorball®

新内外綿株式会社

新中期計画（H30～32年度）

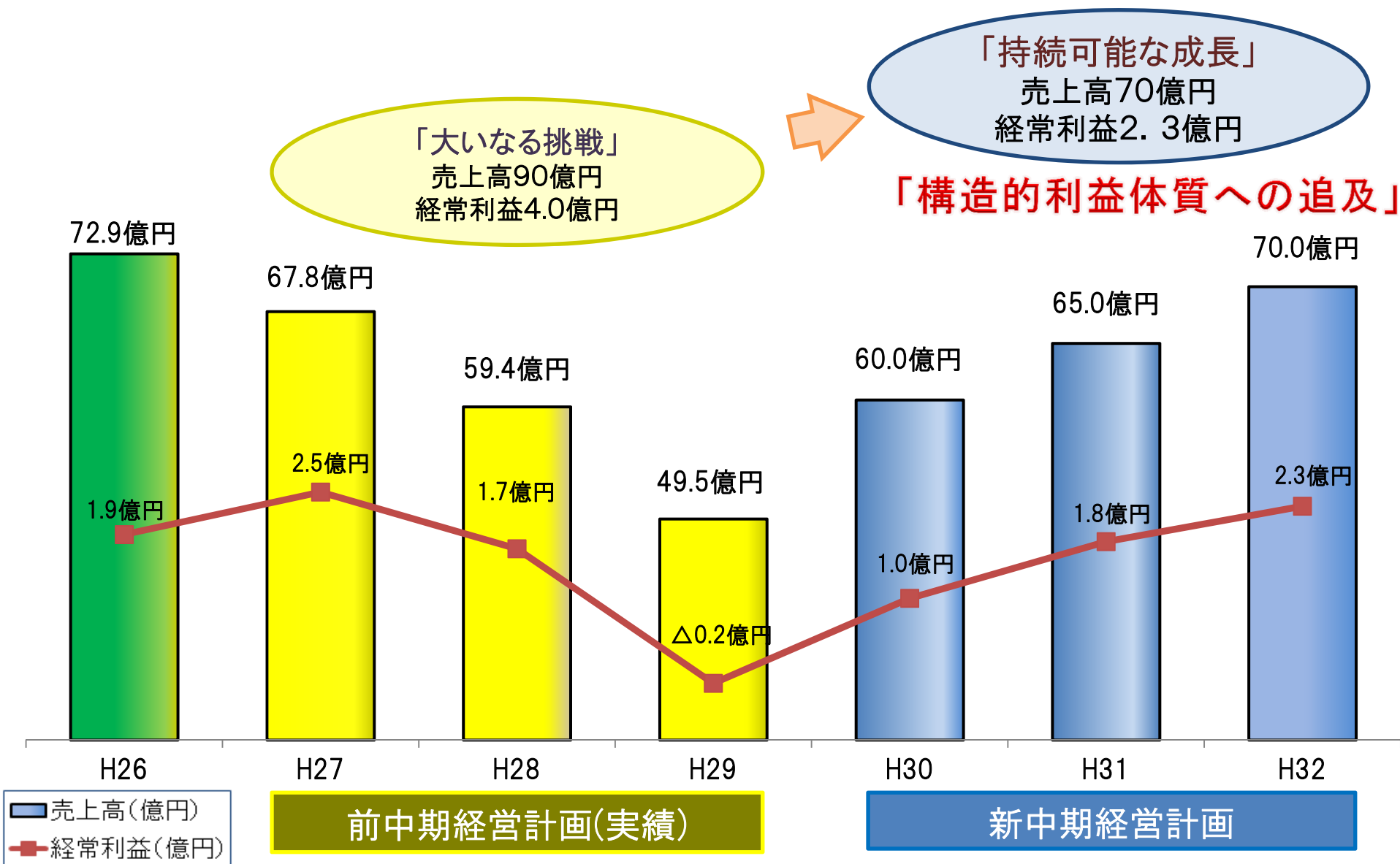
持続可能な成長

構造的利益体質への追及

全体戦略

1. 環境(エコロジー)に配慮した生産活動と商品展開
2. コア部分(紡績)を共通認識とし、そのシナジー効果の極大化
3. 流通チャンネル(顧客の更に先の市場)を意識した販売活動
4. 海外生産・海外販売の更なる発展・拡大
5. 紡績系生産体系の根本的な見直しによる大幅な省力化の達成

新中期計画の概要



新中期計画経営指標

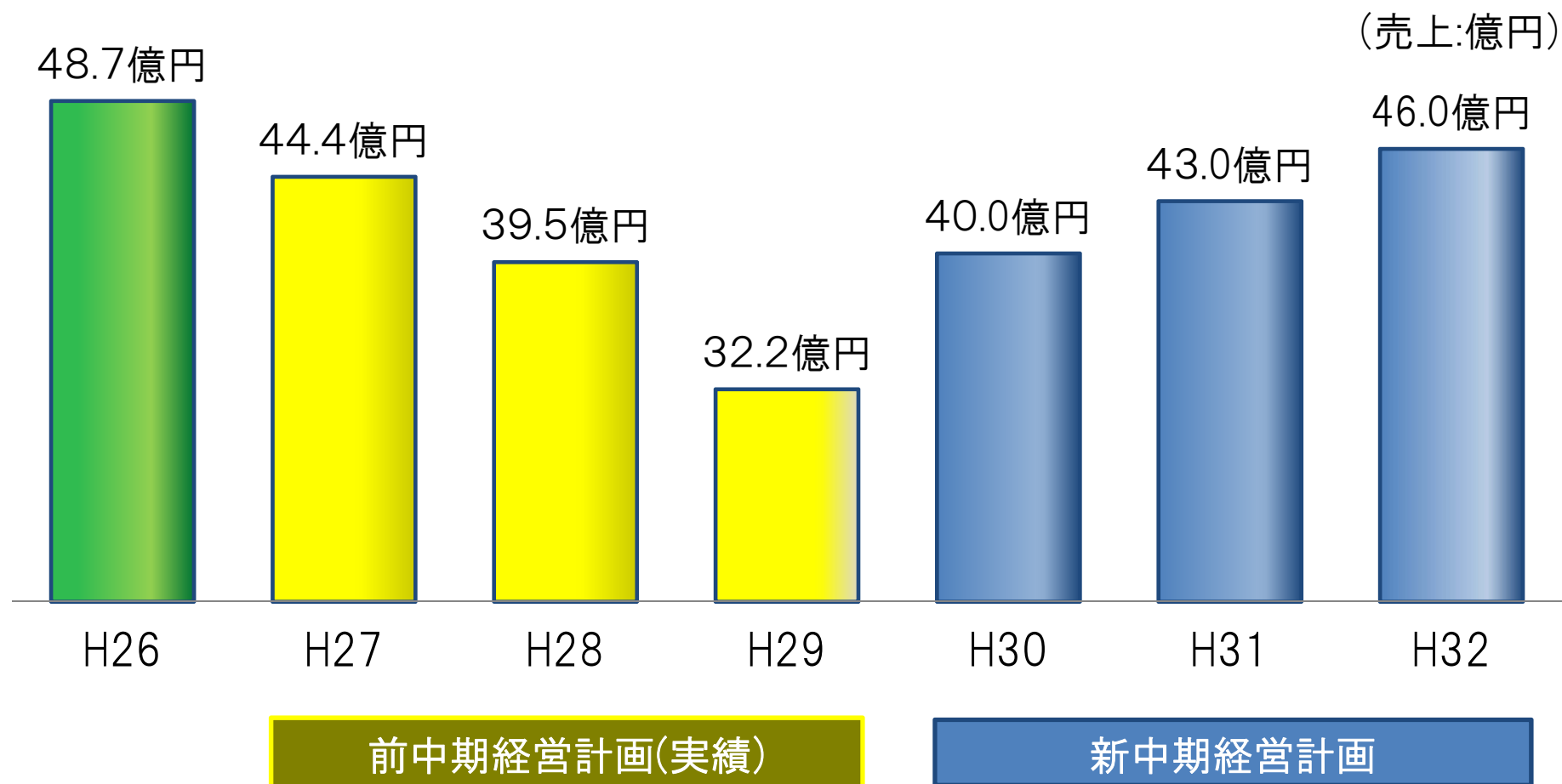
(百万円)

	H26年度	H29年度	H32年度
売上高	7,290	4,958	7,000
経常利益	189	△26	230
当期純利益	108	△23	160
有利子負債	170	208	308
自己資本比率	51%	60.3%	60.0%
ROA(経常利益/総資産)	3.6%	△0.05%	4.5%
ROE(当期利益/自己資本)	4.1%	△0.8%	5.2%
純資産	2,715	2,820	3,062
総資産	5,293	4,670	5,100



紡績部門(紡績部・J.P.BOSCO)事業計画

国内生産およびJ.P.BOSCO(タイ)との協業により
国内販売の建て直しと海外販売の拡充を図る



紡績部 事業戦略

環境に配慮したものづくりの実施

東京での商品企画・取組販売の拡大

- ・すべての綿製品に一定量のオーガニックコットンを使用
環境への配慮に関心の高い顧客との取組を開始
- ・東京市場と各産地の双方対応による国内販売の拡大
- ・最終製品を扱う顧客(アパレル等)との取組販売を拡充
- ・J.P.BOSCO(タイ)と連携し、海外(特にアセアン地域)での販売を展開



J.P.BOSCO(タイ) 事業戦略

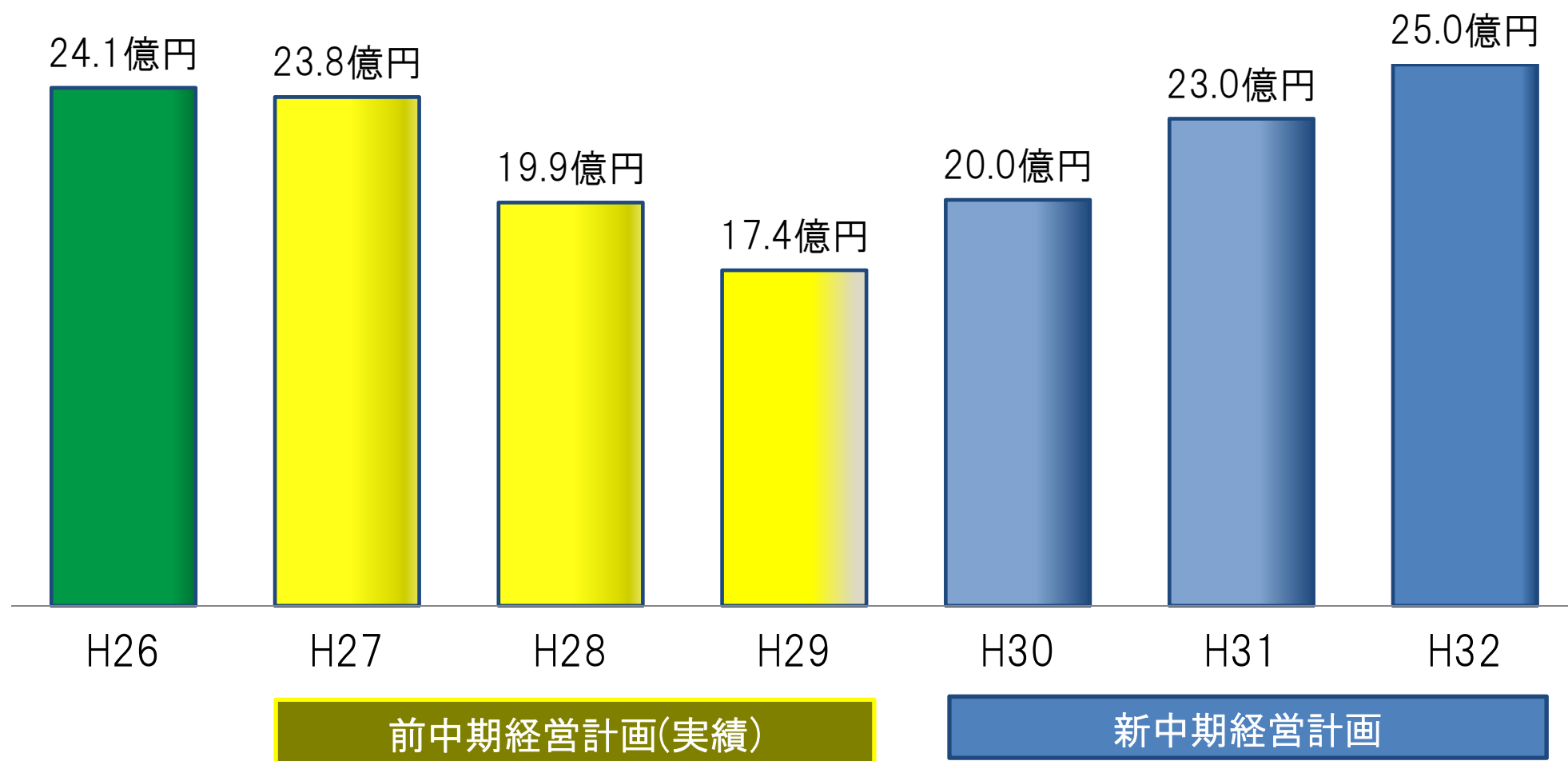
築き上げてきた商社としての強みと新内外綿の生産 ノウハウとの融合により業績拡大を目指す

- ・環境に配慮した素材(オーガニックコットン・テンセル)使用の商品開発によりタイ国内外の販売を拡充
- ・杻糸・混紡糸を含めた小ロット短納期対応をアセアン域内で確立しシェア拡大
- ・取扱品種の拡大および、コストダウンを目的としたタイ国内のみならず、第三国(ベトナム等)からの素材供給先の開拓

テキスタイル製品部門 事業計画

紡績素材の強みやそのシナジー効果を生かした商品構成を
武器に各部門における企画提案・事業戦略を遂行

(売上:億円)



テキスタイル部 事業戦略

自社の差別化糸を使用した生地販売を通して 国内外の主要顧客とのビジネスを深耕・拡大

- ・独自の差別化糸を軸に、更に開発・提案を推進し、主要顧客との取組ビジネスを強固にし、拡大する
- ・国内生産生地 of 米国(ニューヨーク)への販売を発展させさらなる販売地域の拡大を図る
- ・ベトナム生産生地 of 日本向け販売を拡大し、既存ユーザーの拡販および新規ユーザーの開拓を推進する

製品部 事業戦略

企画提案力を強化し販売を拡大するとともに、海外の生産拠点を集約することにより生産効率の向上を図る

- ・海外のトレンド情報に基づくオリジナルサンプルにより、顧客へのタイムリーな提案をする体制の構築
- ・デザイン提案型のODM方式による販売を展開、他社と商品企画画面での差別化により顧客との取組を強化
- ・海外の生産拠点を集約し、供給先との取組を強化することでコストダウン、納期と品質の安定化を図る
- ・自社プライベート・ブランド mocT[®] の販売を拡大し、当社独自のブランドビジネスを展開

投資計画（連結）

次の世代を見据えた経営資源の投資(人と設備)

◆設備投資額…4億円

(株)ナイガitekスタイルの設備を中心に…

- ・大胆なレイアウト変更により大幅な省力化
- ・設備更新により生産進行のスピードUP
- ・工場内モニタリングシステムを導入することにより、更に円滑な多品種生産対応と効率的な人員配置の実施

◆人材投資・ガバナンス

設備以外に人員拡充の投資を進める

- ・グループ間の積極的な人材交流
- ・継続的な企業価値向上のためのガバナンス体制強化

ご注意

本資料における業績等の予想および計画の将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等の結果は、今後のさまざまな要因により、業績等の予想および計画と異なる可能性があります。